

令和8年度 藤沢市消防局 運営方針



新しい
未来の
カタチ。



市民の安全・安心な暮らしを
実現するための“組織力”の強化
～”新しい未来のカタチ。”へ“つなぐ”
さあ、動き出そう！～

1



消防・救急体制の更なる 充実強化を図ります

- (1) 増加する救急需要と高度化する救急業務への対応強化
- (2) 将来を見据えた消防力の最適化

2



消防行政の 質の向上を目指します

- (1) 「人材を育てる制度」による質の向上
- (2) 「業務の効率化」等による質の向上

3



多様な主体との 共創施策を推進し 広報体制を更に強化します

- (1) 多様な主体との共創施策を推進し
広報体制を更に強化

1



消防・救急体制の更なる 充実強化を図ります

(1) 増加する救急需要と高度化する救急 業務への対応強化

- 救急需要抑制を更に推進する。
- 救急体制増強後の機動救急隊の最適配置と需要対策についての検討を進める。



(2) 将来を見据えた消防力の最適化

- 現有消防力を維持しつつも、社会情勢等を考慮した効率的な部隊配置と部隊運用等について検討を進める。
- 湘南地区を含めた近隣都市及び湘南東部地区における広域連携を推進する。





消防行政の 質の向上を目指します

(1) 「人材を育てる制度」による質の向上

- チーム内で相手のことを考えたコミュニケーション手法を実践し、目標達成に向け、心理的安全性の高い“いいチーム”を構築する。
- 優先順位を付けた訓練・研修計画を策定し、明確な目標を計画に入れ込むことで、効果的に人材をスキルアップさせることを目指す。

(2) 「業務の効率化」等による質の向上

- 所属長をはじめとする管理・監督者のマネジメントにより、既存の業務内容や取組み方、考え方を見直し、何事にも挑戦できる環境を整える。
- 業務改善等による業務効率化をさらに進める。



3



多様な主体との
共創施策を推進し
広報体制を更に強化します

(1) 多様な主体との共創施策を推進し広報体制を更に強化

- 企業、近隣消防、消防団、大学及び自治会等、多様な主体と積極的に繋がりをもち、共創施策を推進することで新たな価値を創出し藤沢消防のブランディング力を高める。
- イベントや広報媒体を通じて「地域にとって身近な消防」となるよう、広報活動を推進する。



